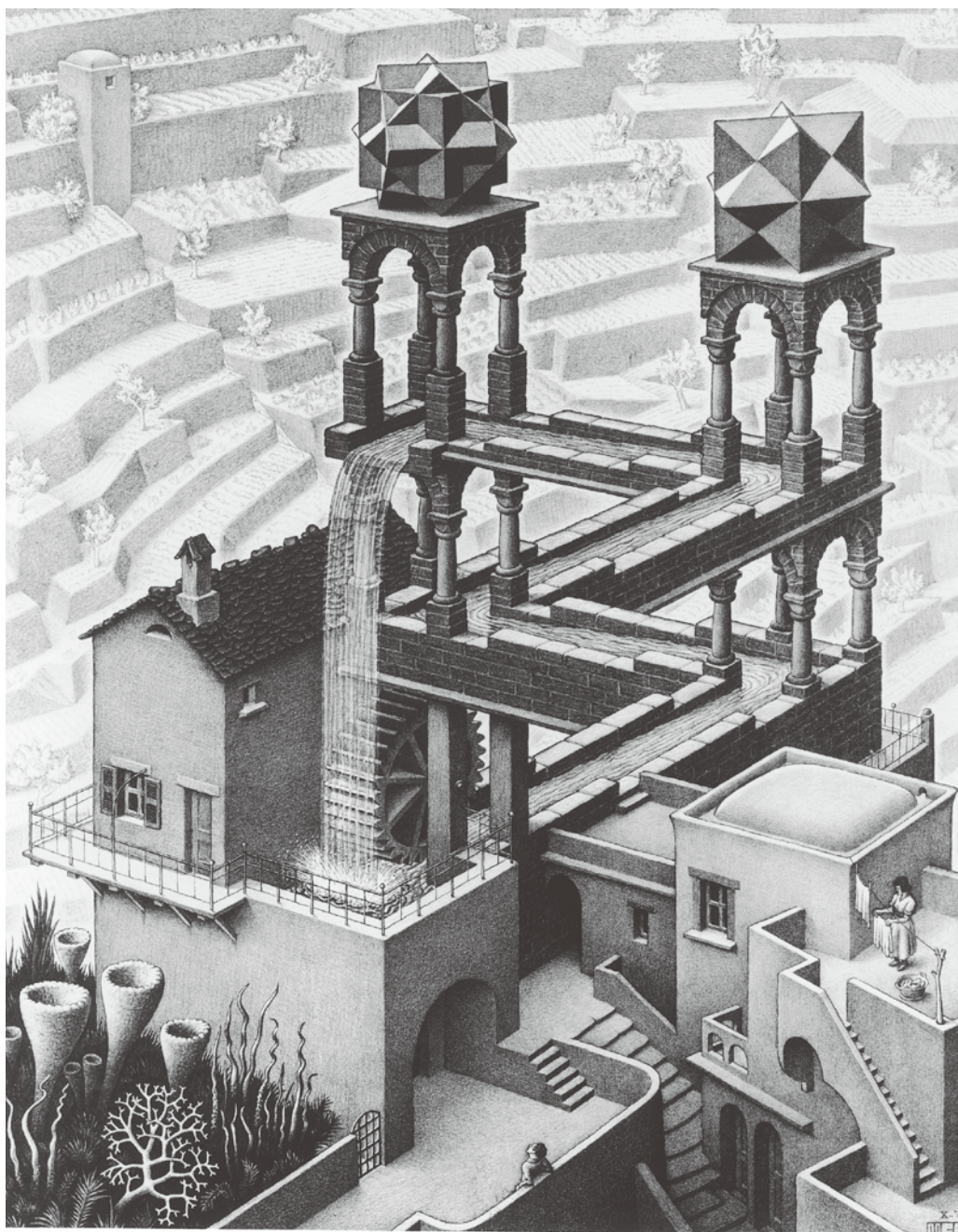


# エッシャーの世界

2016年7月17日(日)～8月28日(日)



M.C. エッシャー 《滝》1961年、リトグラフ

【プレスリリースのお問合せ】 展覧会担当：大石・伊藤 広報担当：青木・大庭



静岡市美術館

SHIZUOKA CITY MUSEUM of ART

〒420-0852 静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3F  
tel. 054-273-1515 (代表) www.shizubi.jp

JR静岡駅北口より徒歩3分 夜7時まで開館



M.C. エッシャー 《写像球体を持つ手》  
1935年、リトグラフ

## 展覧会概要

20世紀オランダを代表する版画家、マウリッツ・コルネリス・エッシャー（1898-1972）。17世紀以来のだまし絵とも一線を画す彼の独特でユニークな作品は、世界中で高い人気を誇っています。

本展では、オランダ・エッシャー財団の全面的な協力を得て、誰もが知る代表作だけでなく、貴重な初期の作品や、イタリア時代の風景画を紹介します。併せてエッシャーの才能を見出し大きな影響を与えた師・サミュエル・イエッスルン・ド・メスキータの作品も特別出品し、約110点の作品によりエッシャーの作り出す不思議な世界とその魅力に迫ります。

## 第1章 エッシャーと師メスキータ

エッシャーは、1898年6月17日、オランダ・フリースラント州レーワルデンにジョージ・アーノルド・エッシャー（明治期、お雇い外国人として来日したこともある土木技術者）の5男として生まれます。その父のもと育ったエッシャーは、建築家をめざしハーレルムの建築装飾美術大学へ入学。しかし、そこで教壇に立っていた版画家・サミュエル・イエッスルン・ド・メスキータに版画の才能を見出され、さまざまな版画技術を習得します。第1章では、エッシャーの原点として貴重な初期作品を師・メスキータの作品とともに紹介します。



M.C. エッシャー 《トロペア(カラブリア)》  
1931年、リトグラフ

## 第2章 イタリアでの周遊

1922年、24歳の時にエッシャーは友人とイタリアへ旅行し、その魅力に取りつかれます。以降毎年のようにイタリア各地を周遊、やがてローマに移住します。この時代のエッシャーは創作意欲にあふれ、イタリア周辺の風景や建造物を精力的にスケッチしてまわり多くの風景版画を制作しました。エッシャー作品全体に見られる細かな描写、卓越した写実力は、この多産なイタリア時代に確立されます。そしてこの頃の体験は、空想と現実が織り交ざる「エッシャーワールド」の構成要素の一つとして、エッシャーに大きな影響を与えたのです。第2章では、エッシャーがイタリア時代に手がけた風景版画の数々を紹介し、エッシャーのだまし絵とはまた異なる、その不思議な魅力に迫ります。

## 第3章 エッシャー独自の世界

1935年、エッシャーはファシズムの台頭によりやむなくイタリアを去りますが、そのことがエッシャー作品の大きな転機となりました。翌年、スペイン・アルハンブラ宮殿を再訪して以降、エッシャー作品の主題は風景版画から「平面の正則分割」や私たちがよく知る「だまし絵」などの心象風景へと変化していきます。第3章では、誰もがよく知るエッシャーの代表作の数々を資料とともに紹介します。

エッシャーの作風の変遷をその生涯とともに展観することで、今日世界中の人々を魅了し続ける、版画家・エッシャーの試行錯誤の軌跡をご覧ください。



M.C. エッシャー 《昼と夜》1938年、板目木版(2色刷)



# エッシャーの世界

2016年7月17日(日)―8月28日(日)【37日間】

休館日/毎週月曜日(但し7月18日(月・祝)は開館、翌19日(火)は休館)

■開館時間：10：00―19：00 (展示室入場は閉館の30分前まで)

■観覧料：一般1,000(800)円、大高生・70歳以上700(500)円、中学生以下無料

\* ( ) 内は前売および当日に限り20名以上の団体料金

\*障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

■前売券：6月8日(水)から7月16日(土)まで販売

※販売所：静岡市美術館、チケットぴあ [Pコード767-520]、ローソンチケット [Lコード42540]、セブンチケット [セブンコード045-651]、谷島屋 呉服町本店、谷島屋 マークイズ静岡店、戸田書店 静岡本店、戸田書店 城北店、江崎書店 パルシェ店、MARUZEN&ジュンク堂書店 新静岡店

■主催等

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者 (公財) 静岡市文化振興財団、静岡朝日テレビ、日本経済新聞社

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、オランダ王国大使館、在大阪・神戸オランダ総領事館

協力：エッシャー財団 企画協力：株式会社キュレイトーズ

## 関連事業

### 1、講演会「エッシャーとサイケデリック数学」

日時：7月17日(日) 14：00―15：30

講師：日詰明男氏

(幾何学アーティスト、龍谷大学理工学部数理情報学科客員教授)

会場：当館多目的室

参加料：無料

定員：70名(応募多数の場合は抽選)

申込締切：7月1日(金)必着

【申込方法】

当館のHP申込フォーム(www.shizubi.jp)または  
往復はがきにて。一件につき4名様まで。

※往復はがきでのお申込み方法

①催事名、催事日、②氏名(参加人数分)、③年齢(参加人数分)、

④住所(郵便番号から)、⑤電話番号をご記入の上、

静岡市美術館まで。

※抽選の如何にかかわらず結果は通知いたします。

### 2、当館学芸員によるギャラリートーク

日時：8月6日(土) 14：00―14：30

参加料：無料(要観覧券)

申込不要(当日多目的室前にお集まりください)

### 3、しずびオープンアトリエ

日時：8月6日(土)―21日(日) ※休館日を除く

いずれも①13：30―、②15：00―(各回1時間程度)

対象：小学生以上 各回15名(申込不要・当日先着順)

会場：当館ワークショップ室

参加料：200円(受付でチケットご購入の上、会場へ)

### 4、しずびチビッコプログラム

日時：8月27日(土)

①10：30―12：00、②14：00―15：30

対象：2歳以上の未就学児 各回10名

会場：当館ワークショップ室

参加料：子ども1名につき500円(保護者の方は要観覧券)

申込締切：8月12日(金)必着

【申込方法】

はがきでの申込は、官製はがきに希望時間・子どもの名前

・参加人数・性別・年齢(月齢まで)・保護者の氏名・子

どもとの続柄・住所・電話(緊急連絡先)を明記

## 連携事業



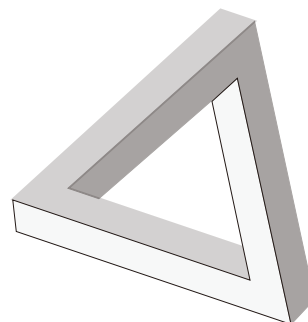
静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業  
みる・きく・さわりのさっかく展

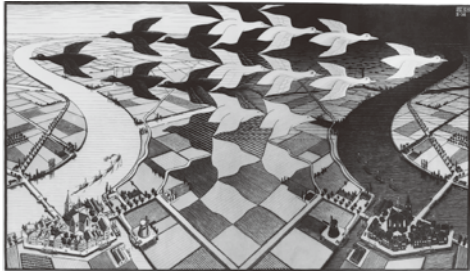
会期：7月16日(土)―8月31日(水) 開館時間：9：30―17：00(最終入場は16：30まで)

会場：静岡科学館る・く・る 10階ガレージ/観覧料：無料(入館料別途)

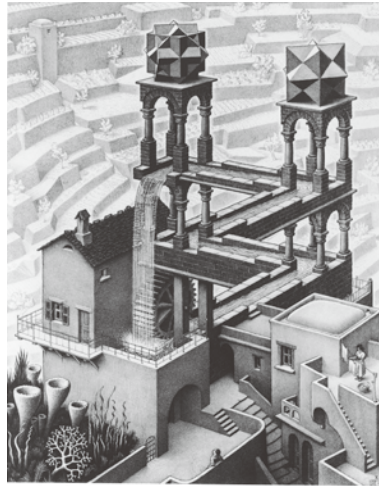
【問合せ】静岡科学館る・く・る

〒422-8067 静岡市駿河区南町14番25号エスパティオ8～10階 TEL：054-284-6960

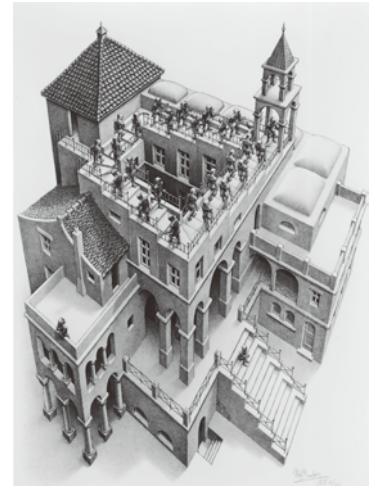




1 M.C. エッシャー 《昼と夜》 1938年、板目木版(2色刷)



2 M.C. エッシャー 《滝》 1961年、リトグラフ



3 M.C. エッシャー 《上昇と下降》 1960年、リトグラフ



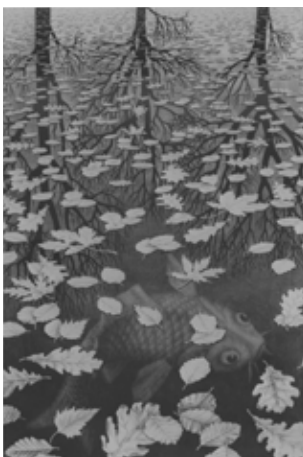
4 M.C. エッシャー 《トロペア(カラブリア)》 1931年、リトグラフ



5 M.C. エッシャー 《写像球体を持つ手》 1935年、リトグラフ



6 M.C. エッシャー 《ベルベデーレ(物見の塔)》 1958年、リトグラフ



7 M.C. エッシャー 《三つの世界》 1955年、リトグラフ



8 M.C. エッシャー 《婚姻の絆》 1956年、リトグラフ



9 M.C. エッシャー 《もう一つの世界》 1947年、木口木版・板目木版(3色刷)

【コピーライト】

All M.C. Escher works copyright © The M.C. Escher Company B.V. - Baarn-Holland.  
All rights reserved. www.mcescher.com  
M.C. Escher® is a Registered Trademark of The M.C. Escher Company B.V.